

令和4年度第1回自立支援協議会こども部会 議事要旨

1. 開催日時 令和4年8月30日（火）午後2時～午後4時
2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3（オンラインと併用）
3. 出席者 （委員）＊団体名のみ記載

教育研究センター、こども発達センター、浦安市肢体不自由児・者親の会「どっこらしょ」、浦安市自閉症協会、浦安手をつなぐ親の会、社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも、社会福祉法人佑啓会、NPO法人アリスのうさぎ、NPO法人かぷあ
NPO法人発達わんぱく会、NPO法人ワーカーズコープ、スフィンクス株式会社
千葉県立市川特別支援学校、千葉県立船橋夏見特別支援学校、浦安市立小学校長会
浦安市立中学校長会、こども家庭支援センター
（事務局）障がい事業課、障がい福祉課

4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
 - （1）令和4年度の自立支援協議会について
 - （2）令和3年度こども部会の振り返り
 - （3）サポートファイルについて
 - （4）発達に心配のあるこどもやその家族への支援について
3. 閉会

5. 配布資料

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 議題(1)資料1 | 令和4年度浦安市自立支援協議会について |
| 議題(1)資料2 | 令和4年度自立支援協議会スケジュール |
| 議題(1)資料3 | 浦安市の課題と解決に向けて |
| 議題(2)資料1 | 令和3年度こども部会の振り返り |
| 議題(3)資料1 | サポートファイルの利用状況調査について（変更案） |
| 議題(3)資料2 | アンケート調査チラシ（案） |
| 議題(3)資料3 | サポートファイル配布数 |
| 議題(4)資料1 | 浦安市ひきこもり相談窓口 |
| 議題(4)資料2 | 浦安市ひきこもり支援拠点 |
| 議題(4)資料3 | 発達に心配のあるこどもやその家族への支援について |
| 議題(3)当日資料 | アンケート内容（案） |

6. 議事概要

(1) 令和4年度の自立支援協議会について

■説明（リーダー・サブリーダー・事務局）

令和4年度の自立支援協議会の概要、浦安市の課題と解決に向けた各部会の協議内容等について説明した。

■主な意見

特になし

(2) 令和3年度こども部会の振り返り

■説明（リーダー・事務局）

令和3年度こども部会の協議内容について説明した。

■主な意見

特になし

(3) サポートファイルについて

■説明（リーダー）

利用状況調査の変更点を説明した後、WEBアンケートの内容について、意見交換を伺った。

■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

委：回答項目の「その他」は自由記述ができるようになっているか。その回答内容が重要になってくると思う。

→事：自由記述ができるようになっている。

委：アンケートの調査報告書は一般公開するか。

→事：一般公開する。

委：回答期間とチラシの配布はいつ頃を考えているか。

→事：委員からの意見を受けてアンケートを修正し、再度各委員に確認した後に実施するので、時期についてはまた後日委員へ報告する。

委：匿名のアンケートなので、同じ方が複数回答しないよう、「お子様1人につき1回のみの回答」など、チラシに表記すると良いと思う。

委：調査票の冒頭にあるアンケートの目的について、「サポートファイルの利用状況調査をして支援につなげる」という旨も明確に記載した方が良いと思う。

委：「サポートファイルを知らない」と回答した後に「使ってみたいと思うか」の問いがあるが、ある程度「サポートファイルを知っている」人に向けてアンケートをお願いするということが良いか。もしくは、「知らない」と答えた方に対し、もう一つ設問を増やすなどすると良いのではないか。

→事：チラシの裏にサポートファイルの説明を載せているが、「知らない」と回答した後の設

問について再度検討する。

委：アンケートの周知はどのようにしていくか。今使っている人だけでなく、今まで使っていた人にも聞くのであれば、年代的にも多くの人に周知した方が良いと思う。

→事：こども発達センター、まなびサポート、そらいろルームの利用者に対してチラシを配布する予定だったが、より多くのご意見を伺うために、当事者団体の皆様にも会員の方にチラシを配布する等協力をお願いしたい。

リ：まなびサポートについては、就学前だけでなく在学中のこどもへの学校支援を行っているので、小中学校の校長会で各学校の校長にアンケートを周知する。

委：市でファイルを作った意図と利用者のメリットが合致していないように感じる。メリットを利用者に理解してもらうのが大事だと思う。書いたからすぐ使えるというよりは、進学や18歳などの節目の段階で必要になると思うので、団体の新規会員に対して周知を行いたい。

委：障がい福祉サービス事業者が、面接時に保護者にファイルのことをアナウンスするなど活用していくことが、保護者には一番伝わりやすいと思う。

（４）発達に心配のあるこどもやその家族への支援について

■説明（リーダー：リ、委員：委、事務局：事、社会福祉法人千楽：千）

「浦安市ひきこもり相談事業」について、市の委託先である社会福祉法人千楽より説明。その後、令和3年度に把握した現状や課題に対する協議を行う予定だったが、時間の都合で第2回に延期することとなった。

■主な意見

委：現在支援しているケースは、どのような経緯で関わるようになったか。

→千：昨年度までの受託先から引き継いだケースがほとんど。その他、親からの相談ケースが圧倒的多数。本人からの相談も稀にあるが、ひきこもり相談より就労支援事業につながる人が多い。いちょう学級や、障がい福祉課や障がい事業課などの関係機関からの紹介も多い。

委：親も本人も自ら相談にくることが難しいと思うので、各委員が関わるご家庭にひきこもりの問題があるようであれば、チラシを渡したりなど案内をしてほしい。

委：対象年齢が16歳以上となっているが、いちょう学級と連携することはあるのか。こどものひきこもり相談は、いちょう学級しかないのか。浦安市のひきこもりの傾向はあるのか。

→千：いちょう学級から引き継ぐ場合には、いきなり切り替えることなく、ある程度の期間並行して一緒に支援していくことは考えられる。いちょう学級から情報が来ているケースもあるので、今後、中学校を卒業する前に支援に入れるような体制を取りたいと考えている。

リ：いちょう学級では、家庭から出られないこどもへ訪問相談を行っている。ひきこもり相

談支援事業と連携をしていきたいという話は出ていて、いちょう学級と上手く関係が築けていないケースについては、協力しながら支援の糸口を見つけていきたいと思う。

→千：浦安市のひきこもりの傾向については、統計的なものは出ていない。今年度自立支援協議会でそのような調査をすることを聞いているので、統計的なものが出てくるのではないかな。

事：自立支援協議会での調査は 8050 問題の調査となっているので、若年層を含めた傾向までは出ないと思われる。

委：16 歳未満は基本的にいちょう学級で、16 歳以上になったらひきこもり相談支援事業ということで良いのか。週 2 回開所ということだが、他にも同様の支援機関はあるのか。

→千：民間のひきこもり相談や支援機関は複数ある。不登校の親の会が、学校卒業後も相談機能のある話し合いの会をやっていると聞いたことがある。NPO 法人のニュースタートという事業所が長くひきこもり支援をやっている。公的な機関としては、浦安市ではひきこもり相談支援事業だけ。開所日以外も、連絡や相談は柔軟に対応していきたいと思っている。